



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 サンケン電気株式会社
 コード番号 6707 URL <http://www.sanken-ele.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 貞利
 問合せ先責任者 (役職名) 財務IR統括部長 (氏名) 村野 泰史
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 048-487-6121

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	103,726	14.2	4,003	90.7	3,502	122.5	3,720	—
25年3月期第3四半期	90,856	△6.9	2,098	18.1	1,574	141.0	318	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 8,396百万円 (342.5%) 25年3月期第3四半期 1,897百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	30.68	—
25年3月期第3四半期	2.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	163,838	47,161	28.6
25年3月期	148,517	39,436	26.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 46,835百万円 25年3月期 39,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,200	15.7	8,600	85.9	7,200	77.9	6,700	194.8	55.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	125,490,302 株	25年3月期	125,490,302 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	4,213,575 株	25年3月期	4,177,195 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	121,301,081 株	25年3月期3Q	121,326,007 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるエレクトロニクス業界は、米国経済が個人消費・雇用環境の良化を受けて改善傾向で推移したことや中国経済が減速感を伴いつつも成長を持続したことに加え、長く景気低迷が続いていた欧州経済に持ち直しの動きが見えてきたことなどを背景に、総じて需要は緩やかな回復傾向で推移いたしました。こうした状況下、当社グループでは、「エコ・省エネ」・「グリーンエネルギー」市場をターゲットとし、車載、白物家電、産業機器、LED照明といった、省エネ技術が強く要求される製品を中心に、売上規模拡大と海外展開加速に努めてまいりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、半導体デバイス製品の販売が好調に推移したこと、更には円安による押し上げ効果も加わったことから、売上高は1,037億26百万円となり、前年同期に比べ128億69百万円(14.2%)増加いたしました。売上増並びに車載・白物市場への注力による製品ミックスの良化、更には固定費抑制などの利益構造改善策の効果から、営業利益が40億3百万円(前年同期比19億4百万円(90.7%)増加)、経常利益が35億2百万円(前年同期比19億28百万円(122.5%)増加)と、それぞれ増加いたしました。四半期純利益につきましても、経常利益の増加に加え、米国子会社での繰延税金資産計上により、法人税等調整額を計上したことから、37億20百万円(前年同期比34億2百万円(1,069.9%)増加)となり、前年同期比で増収増益となりました。

事業セグメント別の概況につきましては、次の通りです。

半導体デバイス事業では、自動車の電装化進展により車載向け製品の販売が好調を維持し、また、白物家電向け製品につきましても、エアコンに加え冷蔵庫・洗濯機向け製品の拡販に注力した結果、販売が好調に推移しました。これらの結果、当事業の連結売上高は817億9百万円と、前年同期比124億18百万円(17.9%)増加し、連結営業利益につきましても70億89百万円となり、前年同期比26億25百万円(58.8%)増加いたしました。

CCFL事業では、公共掲示板向け製品の販売減少により、連結売上高は1億28百万円と、前年同期比6億21百万円(82.8%)減少いたしました。売上減に伴い、損益面につきましても、連結営業損失5億98百万円(前年同期連結営業損失5億22百万円)を計上することとなりました。

PM事業では、TV及びプリンターの本体部分小型軽量化に貢献するアダプター製品やオフィス向け複合機の電源製品の販売が好調に推移しました。この結果、当事業の連結売上高は118億86百万円と、前年同期比7億72百万円(7.0%)増加しましたが、損益面につきましては、TV向け電源終息に伴う在庫処理並びに製品ミックスの変化により、連結営業損失11億39百万円(前年同期連結営業損失5億55百万円)を計上することとなりました。

PS事業では、電力会社の設備投資減少など、厳しい環境が続いておりましたが、官公庁向け製品の販売が好調を持続し、また、通信関連向け製品につきましても、第3四半期以降の販売が堅調に推移したことなどから、連結売上高は100億1百万円と、前年同期比2億99百万円(3.1%)増加いたしました。積極的な販売活動により売上を伸ばしましたが、製品ミックスの変化により、連結営業利益は2億81百万円となり、前年同期比1億5百万円(27.2%)減少いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、1,638億38百万円となり、前連結会計年度末より153億20百万円増加いたしました。これは主に、棚卸資産が49億49百万円、有形固定資産が48億30百万円、ソフトウェアが12億35百万円、繰延税金資産が16億1百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部は、1,166億76百万円となり、前連結会計年度末より75億94百万円増加いたしました。これは主に、借入金48億82百万円、コマーシャル・ペーパーが20億円増加したことなどによるものであります。

純資産の部は、471億61百万円となり、前連結会計年度末より77億25百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が95億37百万円、為替換算調整勘定が42億83百万円増加し、資本剰余金が65億44百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は、米国経済の緩やかな回復が続くものと見込まれ、また中国においては、景気減速が緩やかになり、底堅く推移して行くことが想定されます。一方、欧州経済は、景気後退にはようやく歯止めが掛かったものの、依然として雇用情勢は厳しく、個人消費の力強い回復が当面期待できないなど、予断を許さない状況が続くものと考えております。こうした中、当社グループでは、各国の省エネ規制強化などを踏まえ、更なる市場拡大が見込まれる「エコ・省エネ」、「グリーンエネルギー」関連製品の売上規模拡大と海外展開加速に注力してまいり所存です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,079	12,615
受取手形及び売掛金	31,945	32,109
商品及び製品	11,735	13,131
仕掛品	21,090	23,406
原材料及び貯蔵品	11,140	12,378
繰延税金資産	1,210	2,813
その他	2,936	3,755
貸倒引当金	△61	△64
流動資産合計	92,077	100,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,035	18,956
機械装置及び運搬具（純額）	18,210	20,998
工具、器具及び備品（純額）	759	963
土地	4,921	5,027
リース資産（純額）	4,259	3,783
建設仮勘定	5,758	6,045
有形固定資産合計	50,945	55,775
無形固定資産		
ソフトウェア	802	2,037
その他	889	1,110
無形固定資産合計	1,691	3,148
投資その他の資産		
投資有価証券	1,769	2,396
繰延税金資産	196	195
その他	2,079	2,418
貸倒引当金	△242	△242
投資その他の資産合計	3,803	4,768
固定資産合計	56,439	63,692
資産合計	148,517	163,838

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,235	17,802
短期借入金	14,805	27,188
1年内償還予定の社債	20,000	—
コマーシャル・ペーパー	13,000	15,000
リース債務	1,238	1,255
未払法人税等	526	831
役員賞与引当金	—	37
未払費用	8,818	7,037
その他	2,323	2,196
流動負債合計	76,948	71,349
固定負債		
社債	10,000	30,000
長期借入金	12,500	5,000
リース債務	3,157	2,587
繰延税金負債	868	1,274
退職給付引当金	5,128	4,828
役員退職慰労引当金	20	17
資産除去債務	60	60
その他	397	1,559
固定負債合計	32,132	45,326
負債合計	109,081	116,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,896	20,896
資本剰余金	17,573	11,028
利益剰余金	9,493	19,031
自己株式	△3,926	△3,947
株主資本合計	44,037	47,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	546
為替換算調整勘定	△5,004	△720
その他の包括利益累計額合計	△4,862	△174
少数株主持分	262	326
純資産合計	39,436	47,161
負債純資産合計	148,517	163,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	90,856	103,726
売上原価	71,495	79,160
売上総利益	19,361	24,566
販売費及び一般管理費	17,262	20,563
営業利益	2,098	4,003
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	28	31
為替差益	58	281
雑収入	413	297
営業外収益合計	504	616
営業外費用		
支払利息	512	597
雑損失	516	519
営業外費用合計	1,028	1,116
経常利益	1,574	3,502
特別利益		
固定資産売却益	229	0
特別利益合計	229	0
特別損失		
固定資産除却損	49	15
固定資産売却損	—	2
投資有価証券評価損	47	—
特別損失合計	97	18
税金等調整前四半期純利益	1,706	3,484
法人税等	1,408	△224
少数株主損益調整前四半期純利益	298	3,709
少数株主損失(△)	△19	△11
四半期純利益	318	3,720

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	298	3,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	405
為替換算調整勘定	1,643	4,281
その他の包括利益合計	1,598	4,687
四半期包括利益	1,897	8,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,913	8,412
少数株主に係る四半期包括利益	△15	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月21日開催の定時株主総会における決議に基づき、同日をもって下記の通り剰余金の処分を行いました。

会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金の一部を減少し、繰越利益剰余金を増加させることで、損失処理を実施いたしました。

その他資本剰余金の減少額	5,816百万円
繰越利益剰余金の増加額	5,816百万円

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体 デバイス 事業	CCFL 事業	PM事業	PS事業			
売上高							
外部顧客への売上高	69,291	749	11,113	9,702	90,856	—	90,856
セグメント間の内部売上高 又は振替高	762	—	758	0	1,522	△1,522	—
計	70,053	749	11,872	9,703	92,378	△1,522	90,856
セグメント利益又は損失 (△)	4,464	△522	△555	386	3,772	△1,674	2,098

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,674百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,673百万円及び棚卸資産の調整額△0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体 デバイス 事業	CCFL 事業	PM事業	PS事業			
売上高							
外部顧客への売上高	81,709	128	11,886	10,001	103,726	—	103,726
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,013	—	511	4	1,530	△1,530	—
計	82,723	128	12,398	10,006	105,257	△1,530	103,726
セグメント利益又は損失 (△)	7,089	△598	△1,139	281	5,632	△1,629	4,003

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,629百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,628百万円及び棚卸資産の調整額△1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。